

古くは松尾芭蕉も居を構え、戦後はオリンピックの聖火が通り、近年ではカフェやギャラリーが活気を見せる清澄白河—東京都現代美術館は1995年の開館以来、クリエイティブで魅力あるこの地で活動を続けてきました。「MOTサテライト」は、改修休館中の東京都現代美術館が、近隣のさまざまな人々や施設の協力を得てまちへ出かける試みです。地域の一人としての美術館が、アートと社会の関わり方を多角的に提案する、新しい都市型アート・プロジェクトを展開します。

シリーズの第2回目となる今回は、このまちの多彩な営みにある背景や、まちが経てきた歴史的变化の軌跡をたどります。多様な人々が集ってきたこの地域の活力や風景を、出品作家たちが作品を通じてむすび、清澄白河との新たな出会いを創出します。

また、今回は上野にも会場を広げ、国内外のアーティストと人々のさまざまな関わり方の在り方を紹介します。まちや人々に関わり、新たな表現を立ち上げる、異なる地域、異なる専門領域で活躍してきた作家や研究者たち。その作品によってむすばれる風景は、どのようなものなのでしょうか。ぜひまちを巡り、本展をお楽しみください。

下道基行 (Motoyuki Shitamichi) 1978年岡山県生まれ、愛知県在住。《見えない風景「深川編」》 落書き、路地園芸、誰かが置いたオブジェなど、まちなかの何気ないランドマークを言葉でスナップし、地図をつくるワークショップ「見えない風景」。モニュメント化された目印ではなく、人々の営みの痕跡をたどっていくようなこの試みは、これまで各地で展開され、見慣れた場所の別の姿を浮かびあがらせてきました。今回は、この近隣を舞台に実施された「深川編」の記録映像を展示します。

鎌田友介 (Yusuke Kamata) 1984年神奈川県生まれ、同県在住。《不確定性の家》 深川界隈にあった日本家屋の記憶をたどるインスタレーション。一般住宅である本建日本家屋は、寺院や庁舎などランドマーク的な建造物と違い積極的な保存がされづらく、その多くが震災や建て替え等で姿を消しています。地域の人々の記憶の中に断片的に、あるいは曖昧に、しかし強い思い出とともに残っている家屋の特徴を収集・再構成して、どこにでもありそうでどこでもない家として可視化します。

守章 (Akira Mori) 1996年双子の兄弟ユニットとして活動開始。現メンバーは弟の守章(東京都在住)。

《周囲内見》 かつて印刷所があった場所を舞台にしたサウンドインスタレーション。からんどうの空間に入ると取付けられた複数のスピーカーから人の営みを想起させる音が聞こえてきます。まるで部屋を探して物件を見内見する時のように、昔そこにあったであろう想像上の生活感が浮かび上がります。変化していくまちのなかで材木店と並び地域の重要産業であった印刷所の一つが—仕事を終えた幕間のような瞬間を感じさせる作品です。

Atsuko Nakamura 1982年石川県生まれ、神奈川県在住。《内在する速度》 水と共に生きてきた木場の記憶をテーマにした作品。新木場ができる前は、水路に浮かぶ丸太、その両側に並び立つ材木倉庫、そしてそこで仕事を人々や掘削を遊び場にする子供たちの姿が、このまちを特徴付ける風景でした。本展では、会場である建具倉庫に残されていた木材を用いて、水の気配を感じさせるインスタレーションを展示します。

守章 (Akira Mori) 平野の旧印刷所 江東区平野1-9-5

守章 (Akira Mori) 平野の旧印刷所 江東区平野1-9-5

守章 (Akira Mori) 平野の旧印刷所 江東区平野1-9-5

守章 (Akira Mori) 平野の旧印刷所 江東区平野1-9-5

守章 (Akira Mori) 平野の旧印刷所 江東区平野1-9-5

MOTスペース 木・金・土・日曜、祝日開催 11:00~18:00 入場無料

工場・店舗跡地や地域拠点などを活用したメインの展示会場です。清澄白河エリアの全6ヶ所のMOTスペースA~Fは、いずれも徒歩でまわれる範囲にあります。*上野エリアにもMOTスペースがあります。

まち「清澄白河」の風景をえがく 国内外で活躍する現代美術作家たちが、地域の記憶や人々の営みから浮かび上がる風景を、作品を通して表現します。

下道基行 (Motoyuki Shitamichi) 1978年岡山県生まれ、愛知県在住。《見えない風景「深川編」》 落書き、路地園芸、誰かが置いたオブジェなど、まちなかの何気ないランドマークを言葉でスナップし、地図をつくるワークショップ「見えない風景」。モニュメント化された目印ではなく、人々の営みの痕跡をたどっていくようなこの試みは、これまで各地で展開され、見慣れた場所の別の姿を浮かびあがらせてきました。今回は、この近隣を舞台に実施された「深川編」の記録映像を展示します。

下道基行 (Motoyuki Shitamichi) 1978年岡山県生まれ、愛知県在住。《見えない風景「深川編」》 落書き、路地園芸、誰かが置いたオブジェなど、まちなかの何気ないランドマークを言葉でスナップし、地図をつくるワークショップ「見えない風景」。モニュメント化された目印ではなく、人々の営みの痕跡をたどっていくようなこの試みは、これまで各地で展開され、見慣れた場所の別の姿を浮かびあがらせてきました。今回は、この近隣を舞台に実施された「深川編」の記録映像を展示します。

下道基行 (Motoyuki Shitamichi) 1978年岡山県生まれ、愛知県在住。《見えない風景「深川編」》 落書き、路地園芸、誰かが置いたオブジェなど、まちなかの何気ないランドマークを言葉でスナップし、地図をつくるワークショップ「見えない風景」。モニュメント化された目印ではなく、人々の営みの痕跡をたどっていくようなこの試みは、これまで各地で展開され、見慣れた場所の別の姿を浮かびあがらせてきました。今回は、この近隣を舞台に実施された「深川編」の記録映像を展示します。

下道基行 (Motoyuki Shitamichi) 1978年岡山県生まれ、愛知県在住。《見えない風景「深川編」》 落書き、路地園芸、誰かが置いたオブジェなど、まちなかの何気ないランドマークを言葉でスナップし、地図をつくるワークショップ「見えない風景」。モニュメント化された目印ではなく、人々の営みの痕跡をたどっていくようなこの試みは、これまで各地で展開され、見慣れた場所の別の姿を浮かびあがらせてきました。今回は、この近隣を舞台に実施された「深川編」の記録映像を展示します。

Atsuko Nakamura 1982年石川県生まれ、神奈川県在住。《内在する速度》 水と共に生きてきた木場の記憶をテーマにした作品。新木場ができる前は、水路に浮かぶ丸太、その両側に並び立つ材木倉庫、そしてそこで仕事を人々や掘削を遊び場にする子供たちの姿が、このまちを特徴付ける風景でした。本展では、会場である建具倉庫に残されていた木材を用いて、水の気配を感じさせるインスタレーションを展示します。

Atsuko Nakamura 1982年石川県生まれ、神奈川県在住。《内在する速度》 水と共に生きてきた木場の記憶をテーマにした作品。新木場ができる前は、水路に浮かぶ丸太、その両側に並び立つ材木倉庫、そしてそこで仕事を人々や掘削を遊び場にする子供たちの姿が、このまちを特徴付ける風景でした。本展では、会場である建具倉庫に残されていた木材を用いて、水の気配を感じさせるインスタレーションを展示します。

Atsuko Nakamura 1982年石川県生まれ、神奈川県在住。《内在する速度》 水と共に生きてきた木場の記憶をテーマにした作品。新木場ができる前は、水路に浮かぶ丸太、その両側に並び立つ材木倉庫、そしてそこで仕事を人々や掘削を遊び場にする子供たちの姿が、このまちを特徴付ける風景でした。本展では、会場である建具倉庫に残されていた木材を用いて、水の気配を感じさせるインスタレーションを展示します。

Atsuko Nakamura 1982年石川県生まれ、神奈川県在住。《内在する速度》 水と共に生きてきた木場の記憶をテーマにした作品。新木場ができる前は、水路に浮かぶ丸太、その両側に並び立つ材木倉庫、そしてそこで仕事を人々や掘削を遊び場にする子供たちの姿が、このまちを特徴付ける風景でした。本展では、会場である建具倉庫に残されていた木材を用いて、水の気配を感じさせるインスタレーションを展示します。

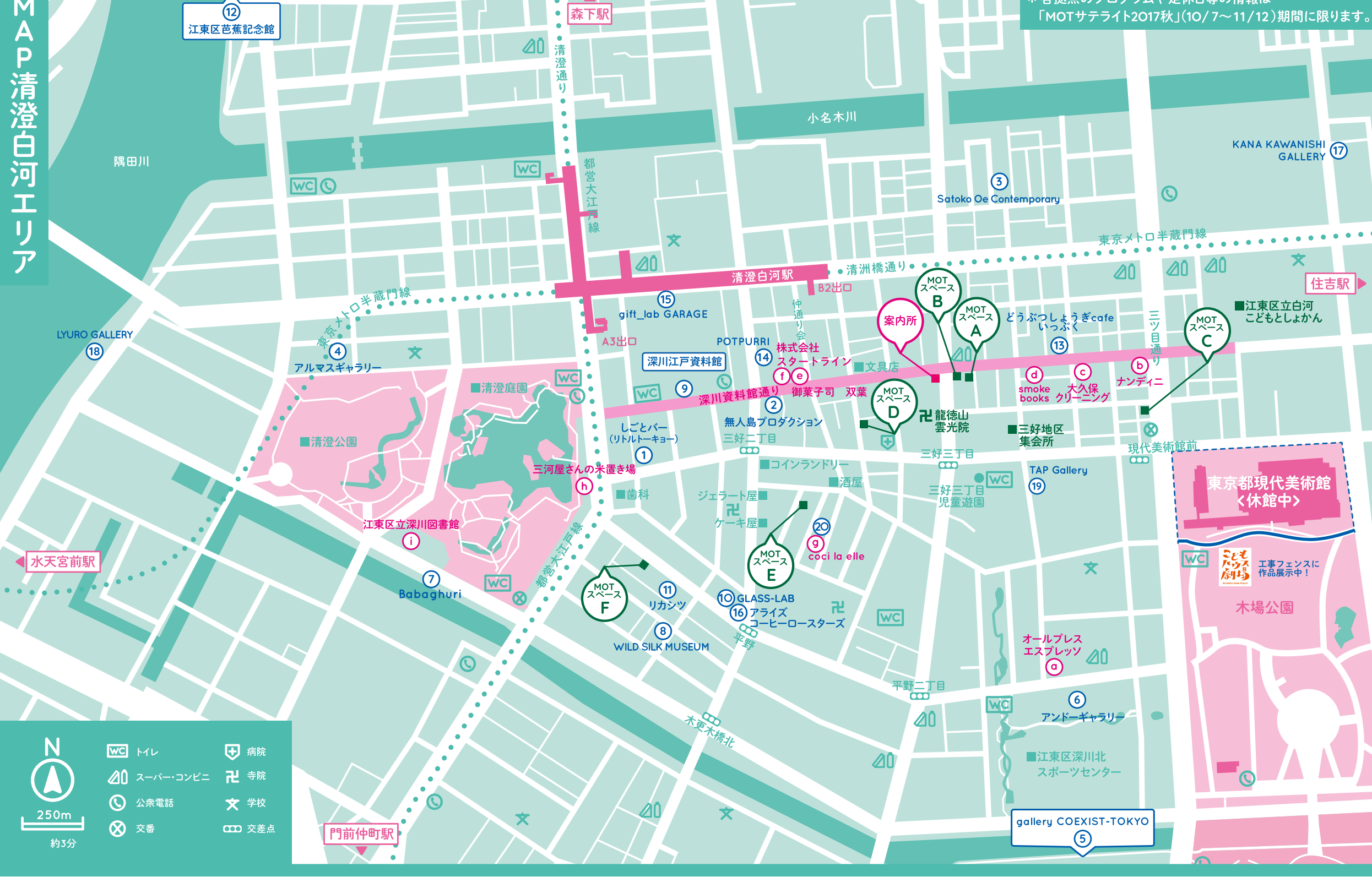
案内所 もっと知りたい人はこちらへ！ 江東区三好2-17-11 木・金・土・日曜、祝日の11:00~18:00

案内所 もっと知りたい人はこちらへ！ 江東区三好2-17-11 木・金・土・日曜、祝日の11:00~18:00

案内所 もっと知りたい人はこちらへ！ 江東区三好2-17-11 木・金・土・日曜、祝日の11:00~18:00

案内所 もっと知りたい人はこちらへ！ 江東区三好2-17-11 木・金・土・日曜、祝日の11:00~18:00

案内所 もっと知りたい人はこちらへ！ 江東区三好2-17-11 木・金・土・日曜、祝日の11:00~18:00



体験からみる清澄白河 教育機関に所属するアーティストや研究者たちが地域や清澄白河というまちをテーマに取りあげ、多様な視点から、体験型作品を中心としたプロジェクトを紹介しします。

体験からみる清澄白河 教育機関に所属するアーティストや研究者たちが地域や清澄白河というまちをテーマに取りあげ、多様な視点から、体験型作品を中心としたプロジェクトを紹介しします。

体験からみる清澄白河 教育機関に所属するアーティストや研究者たちが地域や清澄白河というまちをテーマに取りあげ、多様な視点から、体験型作品を中心としたプロジェクトを紹介しします。

体験からみる清澄白河 教育機関に所属するアーティストや研究者たちが地域や清澄白河というまちをテーマに取りあげ、多様な視点から、体験型作品を中心としたプロジェクトを紹介しします。

体験からみる清澄白河 教育機関に所属するアーティストや研究者たちが地域や清澄白河というまちをテーマに取りあげ、多様な視点から、体験型作品を中心としたプロジェクトを紹介しします。

のらもじ発見プロジェクト 旧喫茶店 江東区三好3-4-7

のらもじ発見プロジェクト 旧喫茶店 江東区三好3-4-7

のらもじ発見プロジェクト 旧喫茶店 江東区三好3-4-7

のらもじ発見プロジェクト 旧喫茶店 江東区三好3-4-7

のらもじ発見プロジェクト 旧喫茶店 江東区三好3-4-7

東京大学 廣瀬・谷川・鳴海研究室 / 東京藝術大学芸術情報センター 清澄白河プロジェクト

東京大学 廣瀬・谷川・鳴海研究室 / 東京藝術大学芸術情報センター 清澄白河プロジェクト

東京大学 廣瀬・谷川・鳴海研究室 / 東京藝術大学芸術情報センター 清澄白河プロジェクト

東京大学 廣瀬・谷川・鳴海研究室 / 東京藝術大学芸術情報センター 清澄白河プロジェクト

東京大学 廣瀬・谷川・鳴海研究室 / 東京藝術大学芸術情報センター 清澄白河プロジェクト

MOTスポット 開場時間や定休日等はスポットにより異なります。 展示は「MOTサテライト」会期中に限ります。 地域に点在するカフェや店舗などの窓ガラスに石塚まこがドローイングを展開します。 深川図書館では小規模な展示を行います。

《反転する視点》 MOTスポット A~H まちの観察や人々の交流で得たインスピレーションを自身の経験と結び、その思考の地図をまちに開かれた窓に展開していくプロジェクト。東京にゆかりもなく、国外に移り住んで生活している作家が、清澄白河で学び、働き、暮らしている海外にルーツを持つ人々を「案内役・媒介者」としてまちを考察し、日々の営みに現れる線の引き方・越え方の中に地域特有の価値観を見いだしてゆきます。

《二重の橋》 MOTスポット I 深川図書館での小規模展示。作家が来日前に読んだ江戸についての書籍や深川図書館で出会った資料、海外の知識人による日本での体験記などと、自身の経験との交差点の数々を星座のようにむすびます。

オールプレス エスプレッソ 大久保クリーニング 御葉子司 双葉 Coci la elle(コシラエル本店) 江東区立深川図書館 ナンディニ* smokebooks 株式会社スクートライン* 三河屋さんの米置き場

地域パートナー 「MOTサテライト」の開催期間中に、地域のクリエイティブな拠点独自の魅力的なプログラムを展開します。

リトルトーキョー 江東区深川江戸資料館 アライズ コーヒーロースターズ

無人島プロダクション GLASS-LAB リカシツ

Satoko Oe Contemporary 江東区芭蕉記念館

アルマシ・ギャラリー 東京都現代美術館<休館中>

gallery COEXIST-TOKYO 木場公園

アンドーギャラリー 東京都現代美術館<休館中>

Babaghuri 東京都現代美術館<休館中>

WILD SILK MUSEUM 東京都現代美術館<休館中>

一部有料のものがございます。最新情報や詳細は各スポットのHP等でご確認ください。

ARスタンプラリー「MOT NavI」 http://motnavi.com/index.html

ARスタンプラリー「MOT NavI」 http://motnavi.com/index.html

ARスタンプラリー「MOT NavI」 http://motnavi.com/index.html

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

石塚まこ (Mako Ishizuka) 1974年兵庫県生まれ、フランス/スウェーデンを拠点に活動中。

GUIDE MAP



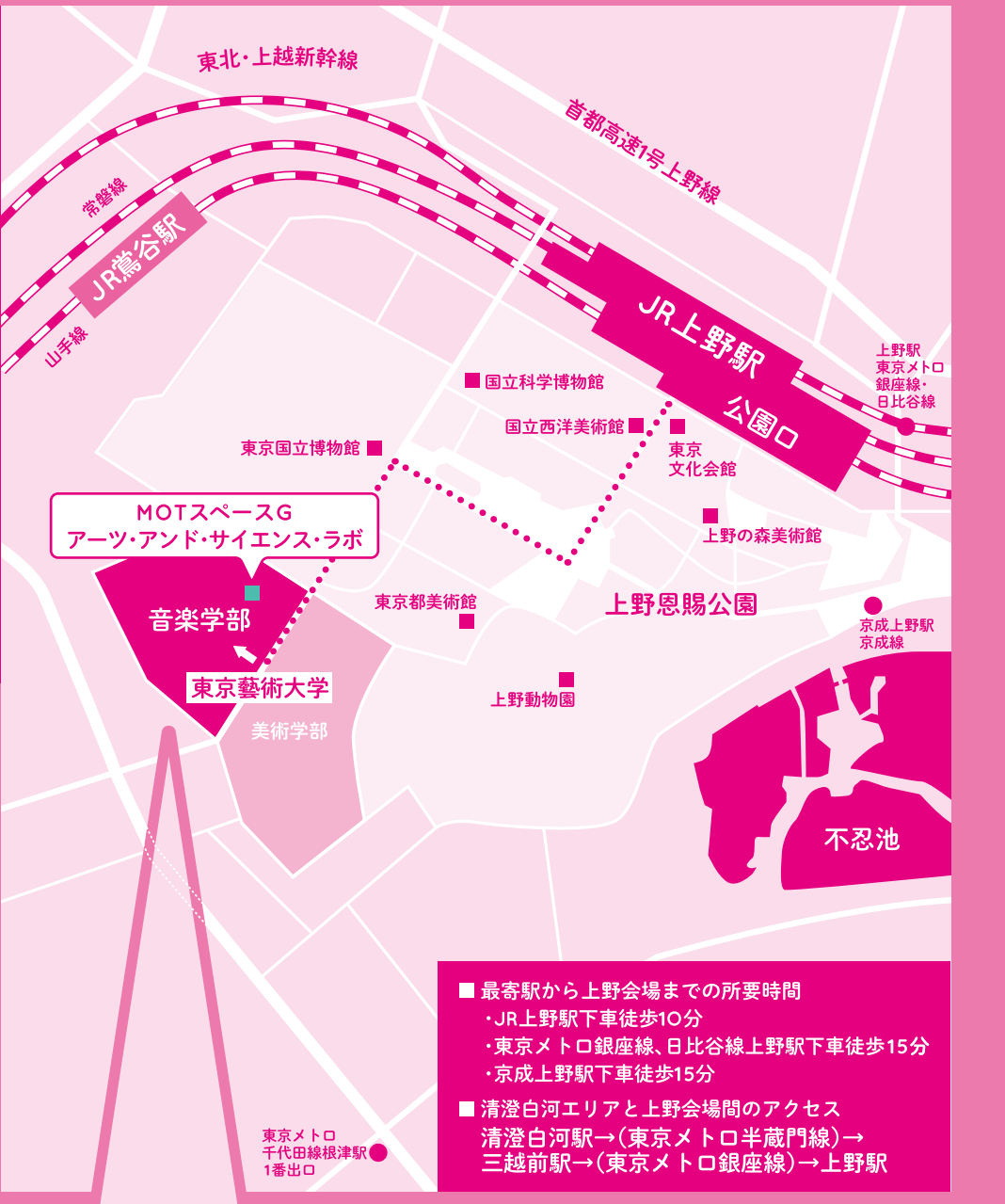
MOT 2017秋 FALL Satellite

東京都現代美術館が、上野も！ アーティストたちと清澄白河のまちにお邪魔します♪ 2017.10.7-11.12 木・金・土・日曜・祝日開催

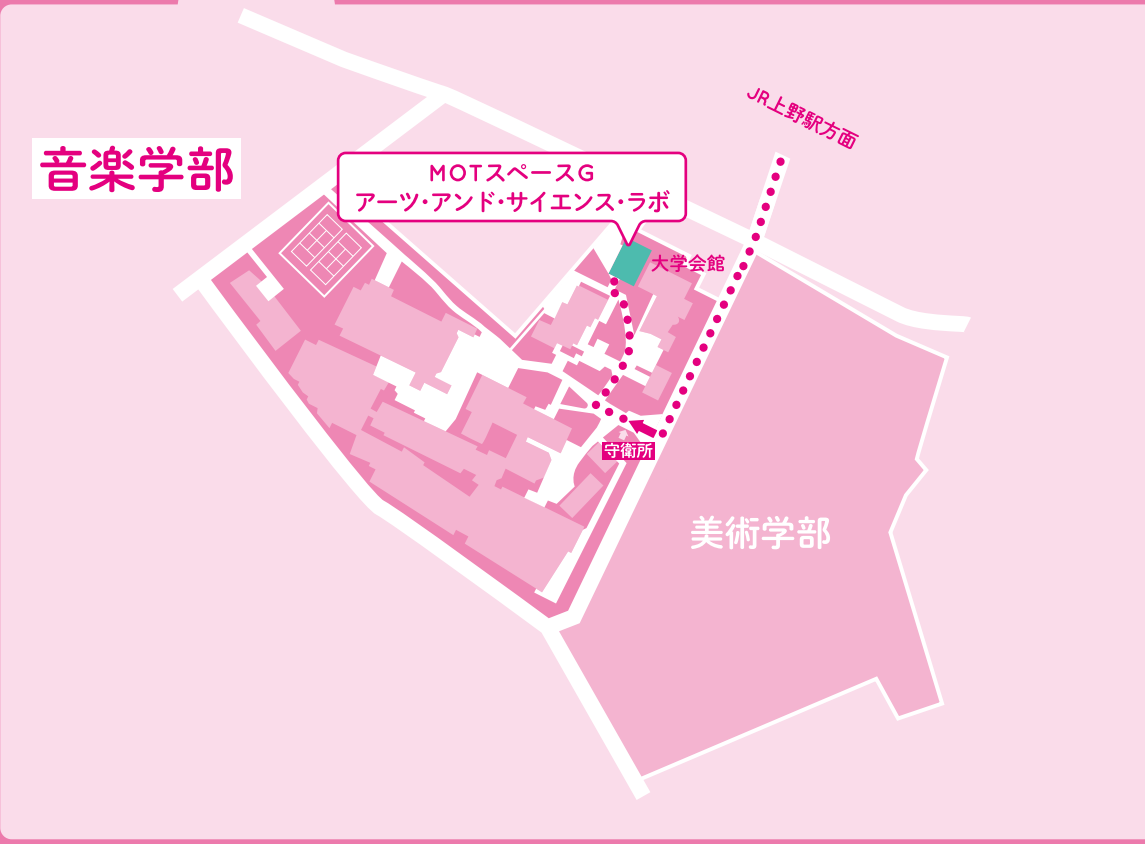
主催 | 東京都・東京都現代美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
後援 | 江東区
特別協力 | 深川資料館通り商店街協同組合、グランデュオ・ハウス、V.N.A.、東京藝術大学社会連携センター、東京藝術大学芸術情報センター、東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科、東京藝術大学 古川研究室、東京大学 廣瀬・谷川・嶋田研究室
助成 | アンチデュー・フランス、モリミン、モリミン、東京藝術大学
協賛 | 株式会社 資生堂、公益財団法人 クラ財団、大日本印刷株式会社
協力 | 東京大学地理院、デル株式会社、ユニテック/ロジーズ・ジャパン合同会社、大阪大学大学院情報科学研究科、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科、錯視ブロックワークショップグループ、一般社団法人 江東区観光協会、法政大学大学院 地域創造システム研究所、江東区文化観光ガイドの会、株式会社中川ケミカル、株式会社 森木バーナー、ケイイテクノソリューションズ東京、江東区深川江岸資料館、江東区立深川図書館、Cooci la elle、smokebooks、オールプレス、エスプレッソ、三河屋精米店、大久保クリーニング、ナンディニ、御葉子 双葉、株式会社スタートライン

平成29年度【第20回】文化庁メディア芸術協議会
お問い合わせ
03-5777-8600 (ハローダイヤル)
*年中無休 8:00-22:00
03-5633-5860 (東京都現代美術館 代表)
*平日 9:30-18:00
www.mot-art-museum.jp
Artwork:Chika Higashi(Cooci la elle)

-Connecting Scapes
むすぶ風景



東京藝術大学上野会場MAP



東京藝術大学

木・金・土・日曜・祝日開催
11:00～18:00
東京藝術大学上野キャンパス アーツ・アンド・サイエンス・ラボ
台東区上野公園12-8

入場無料

アーティストと人々との対話をもたらすもの

アーティストを育む東京藝術大学で行われる展示は、地域とのつながりに根ざしたMOTサテライトのように、現代美術を通して地域や人々と関わることの意義について考えます。アーティストは、人々との対話から何を見出し、作品として表現するのでしょうか。また作品は、関わった人々や観客が社会を見つめなおすための、どんな可能性を提示するのでしょうか。本展「ないようで、あるような」は現代美術が持ちうるその可能性を探るものです。異なる時代や地域に生きるアーティストが、人々と共に社会を見つめ制作した作品を、フランスのカディスト・アート・ファウンデーションとの共同企画で紹介しします。

エリック・ボードレール (Eric Baudelaire)

(1973年アメリカ生まれ、フランス在住。)

《ドラ・マール校 始まり》(2015-)

スティル画像

ある出来事や人物に関する綿密なリサーチに基づいて制作されるボードレールの映像作品は、ひとつの解釈や結論に回収されず、記録や事実とは何かを問いかけます。今回は、作家がパリ郊外のコレージュ(中等教育)ドラ・マール校の生徒らと共に4年に渡って制作を続けている映像作品の一部を発表します。生徒たちが、学校や社会問題について、また自らを表現することについて意識的になってゆく過程が捉えられています。

ウェンデルン・ファン・オルデンボルフ (Wendelen van Oldenborgh)

1962年オランダ生まれ、同地在住。

《Après la reprise, la prise (After the re-take, the take)》(2009)

スティル画像

作家は、人々の関係性や歴史の捉え方などを検証するため、異なる背景を持つ人々と協働し映像作品を制作してきました。今回の展示作品では、反対運動にも関わらず縫製工場での職を奪われ、その経験を演劇化したベルギーの女性労働者たちと、これから社会へ出る学生たちと協働しています。使われなくなった裁縫の教室で、女性たちと学生が自らの経験を共有し、変わりゆく労働条件や、声をあげることに対話する様子が映し出されます。

ミリアム・レフコウィッツ (Myriam Lefkowitz)

1980年フランス生まれ、同地在住。

《Walk, Hands, Eyes (Tokyo)》(2017)

フェスティバル・テアターフォルメン2017でのパフォーマンス
Photo:Andreas Eitler

想像を通じて、まち空間を体験するというもの。展示会場では、音声とテキストによるミニマムなインスタレーションを発表します。

関連プログラム

会期中にさまざまなプログラムを予定しています。
ぜひお気軽にご参加ください。

参加費・無料

石塚まご公開制作

作家がMOTスポット各所の窓ガラスに、思考の地図を描くパフォーマンスを行います。
10月8日(日)13:00-17:00(予定)
※詳しい実施場所は案内所にて随時お知らせいたします。

錯視ブロックワークショップグループ「サッカク・ブロック・ワークショップ」

ブロックを組み立てながら、だまし絵や知覚のトリックで知られる「錯視」の立体を作り、撮影を楽しむワークショップです。
11月3日(金・祝)、4日(土)各日とも14:00-16:30
会場:江東区立白河こどもとしょかん
定員:10組(事前予約不要、各回とも先着順)
参加方法:当日直接会場にお越しください。

ミリアム・レフコウィッツによる参加型パフォーマンス

参加者は目を閉じ、ガイドに導かれながら、まちを約1時間歩きます。視覚以外の感覚や想像が織り成すまちを体験するためのパフォーマンスです。
10月14日(土)、15日(日)13:00-15:00
場所:清澄白河エリア
定員:10名(事前予約不要、先着順)
参加方法:当日12時から、案内所にて整理券を配布します。

富井大裕によるイベント「時間の彫刻」

(body work)の新作を、会場付近で不定期に展示します。
11月4日(土)11:00-17:00
会場:東京藝術大学上野キャンパス アーツ・アンド・サイエンス・ラボ及びその周辺
参加方法:当日直接会場にお越しください。

参加作家によるアーティストトーク

10月14日(土)15:30-17:30
出演:鎌田友介、Atsuko Nakamura、守章、ミリアム・レフコウィッツ、田部井勝彦・十藤木淳(東京藝術大学芸術情報センター 清澄白河プロジェクト)
会場:三好地区集会所(三好3-7-10)
※会場は都合により変更になる場合がございます。
定員:40名(事前予約不要、先着順)
参加方法:当日直接会場にお越しください。

古川聖・藤井晴行・濱野峻行・小林祐貴によるパフォーマンス「Architecture dreams Music / 建築が夢見る音楽」

清澄白河地域の建築空間から楽譜を自動生成し、演奏を行います。
11月5日(日)15:00-16:00
会場:龍徳山 光嚴寺 雲光院(江東区三好2-17-14)
定員:50名(事前予約不要、予約先着順)
参加方法:当日直接会場にお越しください。

Atsuko Nakamuraによるワークショップ「水のプリントに挑戦してみよう!」

水の動きをインクで紙に写し取って、しおりやブックカバーなどを作成します。
10月22日(日)14:00-16:00(出入り自由のオープンワークショップ)
会場:前田建具新倉庫(MOTスペースEの向かい)
参加方法:当日直接会場にお越しください。

下道基行「見えない風景/深川編」ワークショップ

まちを歩いて発見した自分だけのランドマークをむすび、言葉の地図を作成します。
11月11日(土)10:00-16:00
場所:清澄白河エリア
定員:15名(事前申込制)
参加方法:詳細はMOTスペースA、案内所に配架しているチラシ、または東京都現代美術館のホームページをご覧ください。

ウェンデルン・ファン・オルデンボルフによる上映会&トーク

現在の社会的状況や歴史のあり方について、どのような方法で人々と共に考え、映像表現を行ってきたのか、過去の作品を紹介しつつトークを行います。
10月28日(土)15:00-17:00
会場:東京藝術大学上野キャンパス アーツ・アンド・サイエンス・ラボ 4F 球形ホール
定員:50名(事前予約不要、先着順)
参加方法:当日直接会場にお越しください。

トーク&まち歩きクルーズ「ガイドとめぐるMOTサテライト」

東京都現代美術館のガイドスタッフが参加者(1〜5名程度)と一緒に清澄白河エリアを歩きながら作品の見どころやまちの魅力をご案内するツアー。
実施日時:10月14日(土)以降の土、日、祝日(全11回)
ツアー開始時間 14:30～/15:30～
所要時間:45分〜1時間程度
参加方法:事前予約不要、開始時間に案内所へお集まりください。

ARまちあるきツアー「清澄白河 / MOTサテライトをめぐる」

AR(拡張現実感)を使って現在と過去の風景をタブレット端末に映し出し、ガイドの解説を聞きながらMOTサテライト会場周辺を散歩します。江東区で人気を博したツアーの番外編をぜひお楽しみください。
11月3日(金・祝)10:00-11:30
定員:10組 小学生以上(小学生は保護者同伴、事前申込制)
参加方法:内容詳細とあわせて、東京都現代美術館のホームページをご覧ください。



お客様へ ご案内とお願い

- 会場ごとに開場時間や定休日が異なります。事前にご確認の上、ご来場ください。
- 会場は一般の住宅街にございますので、周辺環境への配慮をお願いいたします。
- 展示会場にはゴミ箱がございません。ゴミはお持ち帰りくださいますようお願いいたします。
- 展示会場には駐車場や駐輪場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください。
- 会場及び周辺で撮影される際は、まわりのお客様や近隣、一般の方、住宅等の写りにご注意ください。一部撮影できない会場がございます。また、フラッシュや三脚・自撮り棒の使用や動画での撮影はお控えください。
- MOTスペースにはお手洗いがございませんので、ご注意ください。
- 一部、エレベーターが設置されていない展示会場がございます。あらかじめご了承ください。
- 本GUIDE MAPに掲載している情報は、都合により変更になる場合がございます。

GUIDE MAP制作:東京都現代美術館*